

旧三田川中学校、旧両神中学校、旧長若小学校、旧長若中学校の利活用に係る
意見募集【開催記録】

1. 開催期間

令和7年9月1日（月）～10月1日（水）

2. 募集場所

- ①小鹿野町役場 1F 町民ラウンジ
- ②小鹿野町役場 1F まちづくり観光課移住定住推進室窓口
- ③小鹿野町両神振興会館 1F 窓口
- ④小鹿野町公式 HP 上の特設フォーム

3. 意見等と回答（要旨抜粋）

- ①全体的な意見（旧三田川中、旧両神中、旧長若小、旧長若中の全てに係る）

意見等	廃校になった全てを総合的に考えて活用計画を立てるのが良い。バラバラでは良くない。 個々の立地適正を考え、活かすべき。
回答	各地ごとの魅力、例えば三田川であれば総合運動公園に近い立地を活かすような活用などが考えられるが、そのような形で廃校をコーディネートするよう考えていく。

意見等	各地区に集える憩いの場の設置を希望。各地区には集会所もあるが、多くあったらより良い。 普段は集える場として活用し、災害時には避難所として活用するのも良い。ピアノがあったり、教室単位でわかれていると、活用の幅が広い。住みよい小鹿野町、住んで良かったと思われる町づくりを望みます。
回答	集える憩いの場としての廃校利活用の当町の事例でいうと、旧長若中学校が現在長若集学校として再び門を開き、スマホの困りごと相談や地域の集いの場としての活用などで展開をしている。この学校は避難訓練会場になったり、いざとなれば避難所としての機能も持っている。このようなことをすべての地区で重複して展開することは管理コスト等の兼ね合いで難しい面もあるが、意見として受け止め、可能な範囲で今後の検討に含める。

意見等	廃校利用の内容として、薪ストーブを推進している町として、薪の作り方やストーブの使い方（燃やし方）等のコツを学べる場として、また町民が薪を安価に入手できる機能を備えたような活用も良いと思う。
回答	意見のとおり、カーボンニュートラルの観点などを踏まえて森林資源の活用ができる場としての活用も検討できると考える。校舎１棟を全て使うわけではないと考えるので、廃校の一角で事業化できるかを検討していく。

意見等	廃校利への企業誘致、今すぐ進めるべきです。 様々な意見にまどわされずに進めてください。
回答	慎重に検討していく。

意見等	歴史資料館として廃校を活用してはどうか？現在保管されているだけの資料を今一度町内外の一般の方が見られるようにしてみてもどうか。
回答	そういった文化財などは全てではないものの、定期的に小鹿野町総合センター（文化センター横）で展示をしている。貴重なもののため、頻繁に動かすことも好ましくないことから、開催頻度は低い。廃校を活用して常設し、公開しながら管理をすることが可能かについて、検討をしていく。検討の際には不特定多数の来場に対し、盗難や汚損など無きよう対処を含めることとする。

意見等	町の利活用方針に賛成します。町は人口減と聞いていますが、まずは働く場所が必要。 企業誘致の為にあいている公共施設に企業を誘致することに反対のはありません。 時間をかけてはチャンスを逃すので、今すぐ進めてほしい。
回答	慎重に検討していく。

意見等	廃校を各地域の公民館のような位置づけとして校舎校庭体育館を解放してはどうか？文化センターがその位置づけで解放されているものの、町民も年々高齢化していて移動が困難になっているので、近くに活動の場があれば利用しやすい。教室は冷暖房完備と聞いている。
回答	各地域に利用可能な公民館的機能を持たせた廃校を設置することについては、コスト面と想定する利用率を考え検討をする。 空調に関しては、廃校となった中学校についてはほぼ未整備であり職員室に設置されている程度であるが、廃校小学校についてはご意見のとおり普通教室などはほぼ全てに空調が整備されている状況にある。

意見等	歌舞伎を核としたインバウンド向けコンテンツの創出と、伝統を形として継承する写真展示場、貴重な文化財などの展示場としての活用を求める。歌舞伎に関しては今なら継承する講師も居て、仕事になるまでに発展すれば持続可能性も上がる。
回答	教室単位で管理しやすい学校施設の利活用提案と理解する。歌舞伎に関しては披露するホールも体育館があるためそのような活用も可能と考える。他の意見も踏まえ、総合的に検討していく。

意見等	廃校に泊まれるようになったら楽しそう。
回答	そのような利活用をしている自治体もあるが、近隣に宿泊施設がないなどを補うサービスとして設置しているため公共事業としての展開は難しいと考えるが、公募の際にそのような事業提案が含まれていれば考慮する。

意見等	企業誘致は進められるところから今すぐ始めるべき。働く場所の選択肢がほしい。それが少子化や人口流出を食い止める鍵になると考える。
回答	既に町内で活躍する多くの中小企業があるが、企業誘致も進めていき、仕事の選択の幅を広げ、今の子供たちが将来夢を持って暮らせる町を目指していきたい。

意見等	廃校は動物保護とふれあい施設として活用し、地域活性化と県ブランド向上に資する取組をしてもらいたい。 県民が気軽に訪れ、保護動物とふれあい、譲渡につながるような開かれた施設として展開してほしい。 大きな施設だからこそできる、多角的な展開を期待し、最終的に運用が順調に回れば、殺処分０の県としてのブランド発信が小鹿野町からできる。 保護活動がメインのため、多くの企業の社会貢献での協力や、県の協力などが得られると見込み、実現性も高いと考える。 また、従業員の雇用も事業規模が大きくなれば最終的に動物ケアや施設運営、カフェ・売店、獣医師、トリマースタッフ等で合計４０～５０名は創出できると考える。
回答	保護の観点で公共性も高く、興味深いが、命を預かる事業という責任ある内容であることから慎重に検討したい。

意見等	学校は地域の住民にとって関わりが深く、教育などを目的として様々な経緯をもって、大切な共有財産である。そのため、財産処分（貸与や売却）の際には十分に地域住民との意見交換を経て、地域の実情に基づき活性化に寄与するような計画を策定し、募集要項を策定するのが望ましい。 また、学校は避難所等で利用するのにも適地である。昨今の災害発生後の様子を見るに、長期で避難を強いられる際には各自が車中泊をする様子が多く見られるため、その駐車場所の確保に向けた防災計画の見直しも必要と考える。募集に至る場合には、町としてゼロカーボンシティ宣言をした以上、環境に配慮する旨を募集要項に盛り込むべきであると考えている。 使用料や減免を適用して貸し付ける場合には、条例や規程等を遵守するのはもちろんのこと、別に審議会等設置し、諮問した上で価格決定をし、別に要綱を定めて進めるべきである。 それらを行った上で募集要項の検討をさらに進める際には町と友好関係を結ぶ自治体や団体、大学や経営者なども巻き込み、得た意見を反映させたほうがいい。 これらを経てようやく募集に至れるものと考えている。
回答	地域住民との意見交換は重要だと考え、今回は住民説明会や、オンラインや書面での意見募集も実施したところである。また、防災計画の見直しについては、特に長期の避難を強いられた場合車中泊が多いという点の意見について町防災担当へ連携し、検討に含めてもらうこととする。ゼロカーボンシティ宣言に絡む環境配慮については、審査に盛り込むこととして検討したいと考える。使用料や減免の考え方については、「小鹿野町行政財産の使用料に関する条例」や「小鹿野町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」で定められた内容をご確認いただきたい。募集要項策定段階から外部有識者より意見を取り入れる方法については、対象を含めて今後検討していきたい。

②旧三田川中学校

意見等	体験学習施設や合宿所、トリックアートを交えた映えスポット、各教室ごとにテーマを決めてテナントを募集。 また来たいと思わせるためにおいしい食事を提供する店を入れるのは必須。 全てを活用できるような企業へ売却するのも良い（都内では吉本興業が廃校を活用している事例などもある）。
回答	活用提案の中で、利活用を促進するには食を絡めて来場を促すという意見は取り入れ、検討する。 廃校を企業売却の件については、考える必要もあるかと思うが、時間をかけて利用する企業がしっかりしているかを見定める意味も含めて現在は有償の賃貸借を考えている。

意見等	過去の経緯を踏まえた意見交換や防災計画との整合性、環境負荷に配慮した募集形態、料金の透明性ある設定、それらを含めて募集要項を考える際の外部有識者の招致など、手続きを踏んだ上で、新規貸し付け者を募集する。
回答	ご意見を踏まえて検討し、方法を検討していく。

③旧両神中学校

意見等	両神中学校には木工機械や簡易製材機などがある。ほかにも色々と機材をそろえ、地域の企業や個人が借りられるようにし、増えている空家をDIYでリフォームをしたりして民泊ができる場所を作るなどしたら人口増加につながると思う。
回答	両神中学校に関しては今回、校庭のみが対象であるが、対象としていない校舎内には確かに工作機械が入っている。それらは現在未利用の状態で解放されておらず、有効活用を進める上でも良い利用の方法を検討していく。

意見等	校庭は近所の人に迷惑が掛かって現在未利用のままとのこと。フェンスが低く、このままになるのであれば企業でも来てもらって町が少しでも盛り上がるような使い方をしてもらった方が良い。
回答	公募し、審査をした結果で町が活性化する企業は慎重に精査する必要があると考えるが、意見を踏まえて検討をしていく。

意見等	過去の経緯を踏まえた意見交換や防災計画との整合性、環境負荷に配慮した募集形態、料金の透明性ある設定、それらを含めて募集要項を考える際の外部有識者の招致など、手続きを踏んだ上で、新規貸し付け者を募集する。
回答	ご意見を踏まえて検討し、方法を検討していく。

意見等	企業誘致を進めて欲しいです。民間での利活用を希望します。
回答	ご意見を参考として、検討する。

意見等	若者の雇用の場として企業等に活用してほしい。職場が無いということを理由にした若者の転出を止めて欲しい。
回答	ご意見を参考として、検討する。

④旧長若小学校

意見等	もともと通っていた。とても素敵な校舎であり、今でも待ち合わせの場所にしている。会社などに貸し出さず、共有の場所として残してほしい。遊具も遊べるので、そのままにしてほしい。
回答	開かれた場所としては近隣の旧長若中学校にその役割を持たせているが、遊具はない。他の地域に比べて長若地区には確かに公園が少ないことから、遊具の安全性の点検も含め、地域の子供たちのためにどのように活かせるか検討を進める。

意見等	長若中の分譲計画にも絡むが、地元住民があれだけ反対している以上、中学校でこれ以上進めるのは難しい。 反面、小学校であれば折り合いが付く可能性がある。 小学校の校庭には遊具もあるため、整備し、住環境＋公園の機能を整えることができる。 小学校の校庭を住環境整備したとして、残った校舎についてもコミュニティスペースとして解放し、残した教室机や黒板などを活かして活用したらどうか。
回答	人口減少対策として企画している旧長若中学校校庭の利活用について、小学校の活用を代替案として提示いただいたと理解する。人口減少に立ち向かうための取組として、住環境整備を進めていく上で意見を参考とさせていただき、検討していく。

意見等	みんなに公園みたいに使ってほしい。イベントとかも開催し、みんなにもっとその場所を知ってもらいたい。
回答	遊具の点検も検討しており、安全に利用できる状態を維持できるよう考えていく。校庭は十分なイベント会場になる要素があることから、仮に募集を進めても、入った事業所が地域貢献としてイベント開催をするなどの条件を盛り込むことで考えていく。

意見等	過去の経緯を踏まえた意見交換や防災計画との整合性、環境負荷に配慮した募集形態、料金の透明性ある設定、それらを含めて募集要項を考える際の外部有識者の招致など、手続きを踏んだ上で、新規貸し付け者を募集する。
回答	ご意見を踏まえて検討し、方法を検討していく。

意見等	8月22日の意見交換会で、利活用する企業等の募集は時期尚早などの反対意見が圧倒してしまったが、9年ほどまえにリングローがIT活用で山間地でもアイデア次第でいろいろな働き方、将来が期待できるとして長若集学校を開校した実績もある。
回答	ご意見として受け止める。

④旧長若中学校

意見等	宅地を作るといって道をとおした所で誰が住むか？現在の状況を見て自分が住みたいと思うところになると思うか？
回答	現状を鑑み、強引に進めることはせずに意見を聞いている状況にある。

意見等	反対。住む人はいるのか？
回答	未利用町有地の清水崖宅地分譲を現在進行しているが、その反応や結果を含めて考慮したい。

意見等	旧長若中の住環境整備に関し、説明資料では当該計画地が宅地分譲地として最もふさわしいという理由に長若集学校があると説明しているが、9月議会定例会では現状その機能が不十分であることが明白となった。また、コンビニもスーパーも近所になく、小学校はスクールバスという状況で住環境として好ましいとは思わない。経済効果の面でいえば、町内はどこでも同一と考えており、交通の面であれば、千束峠の今後の整備予定を鑑みるにそちらのほうが適地と考える。地元の同意も得られていない計画を無理に進めることがふさわしいのか？ 町が民業を圧迫しない程度の価格により町有地を宅地分譲すること自体に反対しているわけではない。
回答	このことについては、かねてからの地域住民の皆様のご意見を受け、現在開発を強引に進めるようなことはしておらず、予算措置も行っていない。 この度、意見を聞いているのは改めて本案についての内容の是非について、今まで意見を出していない潜在層からの新たな意見も見込んで実施したものである。 よって、いただいた意見も考慮し、今後の進め方を検討していく。

意見等	土地を売るより集合住宅、若者世帯向けの町営マンションなどが良いのではないかと？
回答	小鹿野町にはマンションと定義できる物件が一軒もない。賃貸になると考えるが、同一のタイミングで同じような世代の世帯が集うマンションという考え方について、検討に含める。

意見等	なぜ長若か？魅力を感じない。スーパーや学校も遠く、飲食店もない。他の場所ではダメなのか？
回答	まとまった平地で秩父市に最寄りの立地であり、若者世代向けに良いと考えた結果、本案ができている背景がある。

意見等	長若中グラウンドの分譲計画はおかしい。森町長の政治生命にかかわる。勇気ある撤退を。
回答	ご意見を踏まえ、検討していく。

意見等	避難場所である旧長若中学校校庭を宅地化するのはやめてほしい。どうしてもというなら長若小学校にしてほしい。 宅地化したところに公園をつくるというならなおさら遊具が既にある小学校へ。防災ヘリ等が有事の際に着陸できるよう場所を残してほしい。空飛ぶ車の発着所にも将来なれる広さがあると思う。中学校の校庭は、豚コレラ発生などの緊急時も、県の関係車両の駐車場などに役立った。 現在救急車で搬送される際の行く先は、埼玉医大か循環器呼吸器病センターが多いが、いずれも車だと１時間かかる。ヘリコプターなら１５分程度で行ける。 役場は町民の命を守るべき。
回答	宅地分譲を仮に進めるとして、校庭が今の半分の広さになった場合はヘリコプターの着陸基準を満たさなくなると見込まれている。 様々な有事の際に、広い平地を活用できるよう、現状のままが良いという希望は理解する。 いただいた意見を踏まえて今後の検討を進めていく。

意見等	長中グラウンドは下記のように使ってほしい。 １．分譲（土地の分割売却）はしない。 ２．多目的広場として当面の間は位置づけ、地域の憩いの場として多少の仮設の整備を行い、活用してほしい。
回答	ニーズを踏まえ、検討に含めることとする。

意見等	私は、富士山頂奥宮の高齢者登山者名簿に記帳することを目標としている。高山病対策に、中学校の校庭を５周するのを日課としている。健康長寿の運動場として解放してほしい。 また、野球ができる広さを備えているので、大谷選手の活躍を見て夢を見る層が再び野球のできる環境に戻してほしい。他の用途であれば、緑地公園などにして、心がリフレッシュする場所を整備してほしい。
回答	運動場としての利用を再開するという意見として、検討する。

意見等	25年後といわず、5年後10年後を視野に小鹿野で空飛ぶ車を実現するにはどのような問題があるか、みんなで考える会を作りました。 旧長若中学校校庭を離着陸（スカイポート）として池袋まで15分（直線距離は70km）となることが期待される。交通不便な小鹿野町へ超短時間で往来できるようになれば、大いに夢のある町になり、住んでみたくなるような可能性に期待します。
回答	新たな可能性の研究に感謝し、ご意見を受け止める。

以上